



すぎなみ 教育報



No.210

平成25年10月1日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

今、向き合う いじめのこと

杉並中学生生徒会サミット



杉並中学生生徒会サミットは、生徒会役員が、全国中学校特別活動研究会主催「中学校生徒会長サミット」で、他の自治体の学校でのいじめをなくす取組を知り、杉並でもいじめをなくしていきたいと考えたことがきっかけで始まりました。

8月4日にセッション杉並で開催された生徒会サミットには、保護者をはじめとする区民の方々や教員、小・中学生など 550 人を超える方が集いました。

第I部

各校のいじめをなくす取組についての発表

—代表校4校（中瀬・神明・松ノ木・高円寺）と区立中学校全校の取組—

【神明中】

江戸しぐさにある「刺し言葉」に注目し、相手に不快な思いをさせない言葉遣いができるように「刺し言葉防止委員会」を立ち上げました。相手を傷つける「刺し言葉」を使わないと宣言した生徒には、バッジを配布するなど、意識向上に取り組んでいます。

【松ノ木中】

生徒同士がいじめについて話し合いを行い、いじめられたら誰かに必ず相談することの大切さに気付きました。生徒総会にて「いじめゼロ宣言」を行い、学級ごとに「いじめ防止ポスター」を作成・掲示して、いじめをなくす取組を推進しました。



ゲストは、元バレーボール日本代表 三屋裕子さん(右)です。全2回の事前学習会にも参加いただきました。

第II部

「いじめって何だろう?」 「いじめをなくすために!」意見交換

—代表校4校（荻窪・富士見丘・泉南・高南）と生徒会役員—

テーマ1

「クラスのみならず度が過ぎたいじり方をされていますが本人は笑っています。それはいじめですか。」

- 友達がいなくなる。大ごとにしたくないという気持ちではないか。
- いじめられている自分をかわいそうな人と思われないように、いじめに負けていない自分を表すために笑っていることもあると思う。

テーマ2

「いじめとは何かという定義について」

- 本人がいじめと感じたらいじめだと思う。
- 本人がいじめと感じていなくても、他の人が見ていじめと感じることもある。
- いじめは他の人が見ていないところで起きることが多いと思う。
- 親や先生に相談してもいじめの状況は変わらないと思っている子も多いと思う。

テーマ3

「いじめたくなる要因」

- いじめの子の心が不安定でストレスが溜まっているからではないか。
- 自分より弱いものを見つけ、自分自身を安心させる。弱い自分を人に見せたくないからではないか。
- いじめによっていじめの子の団結力が高まることもある。

テーマ4

「人はどうして個性を受け入れられないのか」

- 違う意見をもつ人を理解するのはなかなか難しい。
- 自分がないものを持っているということは、とてもうらやましいことであると同時に受け入れられないことにもつながる。
- 自分自身の個性も受け入れられないから、他の人の個性も認められないのではないか。

来場者からは「中学生の本音が聞けて良かった。子どもたちが、真剣に考え、発表する姿にとっても感動した。」との声が多く寄せられました。ゲストの三屋さんからは「良い意味で、自分のもっていた中学生の概念を吹き飛ばしてくれた。また、子どもたちが夢をもって自分の人生設計をしていくときに、大人は、どのようなサポートをしていけばいいのかという大きな宿題をもらった気がする。」とのご意見がありました。

一人ひとりがいじめについて深く考えたこの生徒会サミットは、いじめをなくす取組の出発点です。教育委員会では、生徒会が中心となって小・中学校が協力して行ういじめをなくす取組を支援していきます。12月21日には、いじめをテーマとした「教育シンポジウム」を開催し、生徒会の代表と区民の方々と活発な意見交換を行いますので、ぜひご来場ください。

問合せ: 済美教育センター

杉並区スポーツ推進計画 健康スポーツライフ杉並プラン

スポーツ基本法に基づく区のスポーツ分野の計画として、今後 10 年程度を見通した、平成 25 年度から 5 年間で計画期間とする杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。

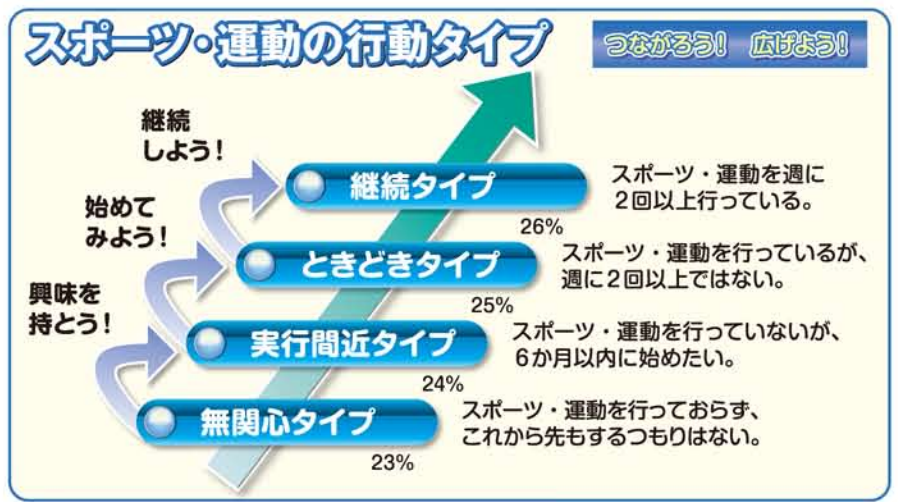
健康とスポーツ・運動

競技スポーツだけでなく、ウォーキングや軽い体操も含めた「スポーツ・運動」は、私たちの「健康づくり」に重要な役割を果たします。また、「子どもの体づくり」や「介護予防」などにおいても、様々な効用や効果があります。それらを踏まえ、より多くの区民がスポーツ・運動への関心を高め、より親しめるようなしくみを整えます。さらに、スポーツ・運動を「する」「観る」「応援する」「支える」「育てる」「誘う」など、多様な活動を通して、認めあい支えあう、豊かで活力に満ちた地域社会の形成を目指します。



あなたはどのタイプ?

平成24年9月に「区民のスポーツ・運動に関するアンケート調査」を行い、スポーツ・運動の実施頻度や意識の違いから、回答者を4つのタイプ(下図)に分類したところ、ほぼ4分の1ずつという結果でした。また、継続タイプになるほど、「自分は健康である」と感じている人の割合が高いことが分かりました。本計画は、継続タイプに向けて、スポーツ・運動が身近になり、健康で豊かな生活を送れることを目指します。



将来像 (ビジョン)

健康スポーツライフ杉並

始める 続ける 広がる スポーツを通した絆のあるまち

目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
子どもが日々、元気に体を動かしている ■運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合 24年度 33年度 77.7% → 85.0%	大人のスポーツ・運動への関心が高い ■無関心タイプの割合 24年度 33年度 22.6% → 15.0%	大人が週1回以上スポーツ・運動をしている ■大人の週1回以上のスポーツ・運動の実施率 24年度 33年度 38.5% → 50.0%	自分が健康であると感じている ■健康であると感じている人の割合 24年度 33年度 86.0% → 90.0%	スポーツ・運動を支えあう多様なつながりがある ■スポーツボランティア活動をした人の割合 24年度 33年度 11.9% → 35.0%

6つの柱と主な取組み

●子ども (18歳未満)	●大人 (18歳以上)				●環境整備
I 子どものスポーツ・運動・遊びの推進 ○学校での体づくり活動の充実 ○幼児期・学齢期の運動習慣づくりの推進など、地域での多様な遊び・スポーツ体験の充実	II 無関心タイプへ興味を持とう! スポーツ・運動の意識啓発 ○キャンペーンなどによる多様な角度からのスポーツ・運動の意識啓発 ○生活習慣病予防や介護予防など、活動的な生活習慣のきっかけづくり	III 実行間近タイプへ始めてみよう! スポーツ・運動の身近な機会の提供 ○ウォーキング・ジョギングなど、気軽に参加できる身近なスポーツ・運動機会の提供 ○子育て期のスポーツ・運動機会の充実	IV ときどきタイプへ継続しよう! 多様なスポーツ・運動の継続支援 ○インターネット・SNSによる情報提供など、地域でスポーツ・運動できる機会の充実 ○勤労者のスポーツ・運動支援	V 継続タイプへつながろう! 区民によるスポーツ・運動の推進 ○地域のスポーツネットワークづくりなど、スポーツ・運動を誘いあうしくみづくり ○高齢者のスポーツ・運動の継続支援	VI スポーツ・運動をしたくなる環境づくり ○地域の拠点としての体育施設の整備・充実など、スポーツ・運動を楽しめる環境の整備 ○スポーツを支える活動の推進など、杉並らしさを活かした取組み



～ 健康スポーツライフ杉並プラン普及啓発イベント ～ 健康的に美しくなる! 一生もののカラダづくり

【日時】 11月10日(日) 午後1時～2時30分 【会場】 勤労福祉会館ホール(桃井4-3-2) ※すぎなみフェスタの催しとして開催
 第1部 講演 田中雅美さん(シドニーオリンピック水泳女子400mメドレーリレー銅メダリスト)
 第2部 対談 田中雅美さん×折井麻美子さん(杉並区教育委員会委員)
 入場無料 定員250名(先着順) 当日直接会場へ 問合せ: スポーツ振興課

▶ **講演会** 学校生活を上手に過ごすには=つまずきや偏りを乗り越えて=
 【日時】 10月26日(土) 午後1時～4時30分(午後0時30分受付開始) 【会場】 勤労福祉会館ホール(桃井4-3-2)
 【講師】 上野一彦氏(一般社団法人日本LD学会理事長) 月森久江氏(済美教育センター指導教授)
 【対象者】 杉並区内在住・在勤の方 【定員】 330名(先着順・要予約) 【参加費】 無料
 【申込】 FAX又はメールにて、①氏名 ②連絡先 ③住所(任意)を記載し、件名に「10月26日講演会申込」と記入して、お申込みください。
 【問合せ】 東京杉並ロータリークラブ事務局 ☎3346-1771(平日の午前11時～午後5時) FAX3346-8221 ✉info@suginami-rc.org

行動の輪を 広げよう

中学生環境サミット



「中学生環境サミット」は、中学生が、環境に対して責任をもつ当事者としての自覚と、問題解決に向けた実践行動力を養うことを目的としています。

今年度は、区立中学校全校から50名の未来を担う中学生が参加して、環境問題についての学習や話し合いを行いました。

さらに、多くの小中学生に環境について関心をもってもらうために、昨年度の中学生環境サミットの生徒が作成した「杉並版チェックシート」を広める活動を行いました。自校の1年生や近隣の小学校4年生に対して、その活用についての説明をし、身近なことから環境を考え、自分たちで出来ることから始めようと伝えてきました。

9月18日には、区役所で発表会を行い、生徒が調べた環境問題とその解決策や、「杉並版チェックシート」によるチェックの結果について発表しました。各学校において、児童・生徒たちが、自主的に環境保全活動を行っていくことを目指して、今後も全校一丸となって、中学生環境サミットを実施していきたいと考えています。

問合せ：環境部環境課



杉並版チェックシート



学校
年 組

名前

～ 未来の事と思わずに 今、行動する ～

身近なことから環境を考え学校や家族・地域にも広げ行動していくこと、自分たちで出来ることから始めよう

調べる内容	取り組んだ人	6月												
		日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	
1 食事を残さず食べる(夕食)	自分													
2 マイバッグ&マイボトルを持つ	家族													
3 自然エネルギーを利用しよう	自分													
4 ～ばなしにしないで、こまめに節電する	自分													
5 シャワーは必要最小限にとどめる	自分													
6 洗顔や歯磨きのときには、こまめに止め、出すときは鉛筆1本分の太さの量に調節する	自分													
7 下水に油や洗剤をあまり流さない	家族													
8 紙のむだ使いを減らす	自分													
学校独自項目														

※ 空欄には、各項目ができた場合は「○」、できなかった場合は「×」を書いてください。各項目が解かりづらい時は、裏面を参考にしてください。1週間のチェックが終わったら、「工夫したこと」や「感想」を記載して、担任の先生に提出してください。

今年も合同部活動スペシャルを開催しました!

普段は学校ごとに行う部活動ですが、8月8・9日に、複数の中学校による「合同部活動スペシャル2013」を開催しました。サッカー、バレーボール、バスケットボール、野球に加え、今年は陸上競技が加わりました。

陸上競技は、昨年9月に完成し、芝生の緑が美しく、整備されたトラックがある和田堀公園陸上競技場(通称 済美山運動場)で行いました。参加した中学生の一人は、タオルで額の汗をふき、水筒の水を飲んだ後、「暑かったけど、みんなで走ることができて楽しかった」と笑顔で話してくれました。

どの競技の生徒たちも、プロチームのコーチや日本代表経験者の話を熱心に聞き、指導者の模範プレーを憧れの眼差しで見ながら、一生懸命練習していました。参加した中学生の皆さん、お疲れさまでした。



部活動活性化事業モデル実施が始まりました!

子どもたちの夢の実現に向け、高い専門性を持った指導者から部活動の指導を受ける「部活動活性化事業」のモデル実施を7月に開始しました。

この事業は、地域の方や保護者とも連携しながら、安全で質の高い部活動を行うことを目的として、学校の希望に基づき、土・日を中心にバスケットボール、硬式テニス、野球など10種目を実施していきます。

指導を受けた生徒からは、「普段の部活にはない面白い練習内容があったので、次回も楽しみにしています」という声がありました。指導者からは、「生徒の力量に合わせて、指導内容を工夫していきたい」という意見がありました。

問合せ：学校支援課



家庭の教育力って なんだろう



小学校PTA活動との 協働の取組

かつて子どもは、家庭や地域の仲間と過ごす中で、社会の一員として生きる知恵を学びとっていきました。保護者同士も「子育てが大変」と相談し合える関係が地域の中には日常的にありました。そういった地域の力に支えられた子育て環境も含めて家庭の教育力と呼んでいました。

しかし、近年は、地域とのつながりが希薄になり、個々の家庭の中で子育てを行っている状況が見受けられます。最近の国の調査でも、保護者の約4割が子育てに関する悩みや不安を抱え、約6割は気軽に相談できる場が欲しいと思っています。

すべての教育の出発点である家庭教育の力を高めいくために、教育委員会では、子どもを育てる中で抱えている悩みを共有し、解決していくことを目指し、家庭教育講座を開催しています。

この秋には、保護者の皆さんからの不安や疑問をもとに企画した家庭教育講座を小学校PTA連合協議会と協働して、区内7カ所で開催します。

テーマは「子どもの自尊感情を高めるために」「子どもの心と向き合う方法」「発達障害への理解」「思春期について」「いじめをなくすために」などです。講師の話も聞いて子育てのヒントにしたり、同じ悩みを持つ方と話をしてみませんか。

小学校の保護者の皆さんには、10月から順次各学校PTAを通じて講座のチラシを配布しますので、ぜひご参加ください。

「家庭教育講座」全体の内容については、杉並区教育委員会 HP-生涯学習-家庭教育支援をご覧ください。

問合せ：学校支援課 家庭・地域教育担当

▶ 郷土博物館特別展「甲州道中へのいざない ー行き交う人・モノー」

開館以来初の、宿場と街道に関する展示で、杉並を流れている甲州道中(甲州街道)に焦点を当て、人とモノの移動をキーワードに、武士の通行、庶民の旅、産物と流通について取り上げます。また、街道沿いの地域資料から杉並にとどまらない甲州道中を紹介します。

【期間】10月26日(土)～12月8日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時 【休館日】毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】100円(中学生以下無料)、20名以上の団体1人80円 【場所・問合せ】郷土博物館本館(大宮1-20-8) ☎3317-0841

家庭・地域・学校が一体となって語り合う「場」づくりを 語ろう! 天沼地域ができること ~子どもたちの心と体の健康づくり~

地域運営学校（コミュニティスクール）に指定されている天沼小学校では、学校運営協議会の呼びかけで、夏休みに「ワールドカフェ」を開催しています。ワールドカフェとは、“知識や知恵は、人々がオープンに会話をを行い、カフェのような気軽におしゃべりできる場所こそ創発される”という考え方に基づくもので、2年目を迎えた今年は、保護者・地域の方々・教員 42名が集いました。

最初に、同校の「子どもたちの体力の現状」「学校での心と体の健康づくりの取組」の説明があり、続いて、参加者が9グループに分かれて、ディスカッションを行いました。お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で、それぞれの立場から、意見や提案などを話し合いました。

参加者からは、「遊びも競争も仲間がいるから楽しい」「子どもたちには遊び場の確保と健全な失敗体験が必要」「子どもたちの仲間づくりのためには、大人同士が語り合うことも大切」「大人の「させたい」と子どもの「やりたい」のギャップを埋めることが必要」など、様々な意見がありました。

地域の中にある「学校」という空間を共有して、子どもたちについて語り合った時間は、とても有意義なものとなりました。同校では、このような取組を通して、家庭・地域・学校が一体となって、より良い子育て環境づくりに取り組んでいます。



「杉並区民オペラ」に出演しました

杉並区民オペラは、区民参加によるオペラの実施を通じてオペラの楽しさを分かち合うとともに、世代を超えたコミュニケーションの輪を広げていくことを目的としています。例年、区内小中学校合唱団に参加を呼び掛けており、7月27・28日に行われた「区民オペラ『椿姫』」には、高井戸第四小学校の児童合唱団が出演しました。

今回挑戦したオペラは、難しい歌だったため、子どもたちは春から少しずつ練習を始めました。その後、大勢の大人の出演者と一緒に練習では、緊張の連続だったようです。しかし、他の出演者とのふれあいを通して、次第に練習の雰囲気にも慣れ、楽しみながら本番を迎えました。

当日は、杉並公会堂の大きな舞台上に立ち、今までに見たこともないほどの大勢のお客さんの前で、これまでの成果を精一杯発揮して合唱と演技をしました。舞台が終わった時、会場から大きな拍手をいただき、充実感でいっぱいになりました。鑑賞していた保護者も、我が子の晴れ姿に目を細めていました。

杉並区民オペラへの出演は、子どもたちにとって、貴重な経験となりました。この活動を通して、一人ひとりが感じたことや体験したことを、これからの学校生活などに生かしていくことが期待されます。



教育委員の活動を紹介します! 7月10日、田中委員(委員長職務代理者)が 済美養護学校を訪問しました。

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、日頃から学校などにも足を運び、教育活動の様子を視察しています。そうした教育委員の活動を順次紹介していきます。



済美養護学校は、知的障害(中・重度)のある児童生徒の「自立と社会参加」を目指す教育を目的に、23区で初めての区立特別支援学校として昭和54年4月に開校しました。今年で35周年を迎え、現在、小学部13学級、中学部10学級で、92名の児童生徒が通学しています。

松浦校長先生が玄関先にて笑顔で出迎えてくださった済美養護学校訪問。年々、児童・生徒数が増えて、教室が手狭になってきていることなど、学校の様子を伺いながら、校舎内を案内していただきました。その後、馬場副校長先生と一緒に授業を見学させていただきました。少人数指導の教室では、子どもたちの気が散らないように配慮が必要で私も気を遣いましたが、先生も子どもたちも温かく迎えてくれました。

4年生のクラスでは、夏祭りに向けて、踊りの練習と金魚すくいにチャレンジしていました。楽しそうに踊る姿と金魚がすくえた際の嬉しそうな笑顔に癒されたひと時でした。

済美養護学校では、「輝く子ども - 社会の中で生きる力と生きる喜びを育む - 」という教育目標のもと、一人ひとりの成長や発達に応じたきめ細かい指導と支援を日々行っています。たくさんのお子たちから、元気をいただけた一日でした。

- 田中委員から -

▶ ペン知る ▶ 教育委員会の動き(25年6月~25年8月)

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 定例会 5回 臨時会 1回 議案 10件 報告事項 21件 協議事項 1件

【主な案件】 ◎は議案、○は報告事項、●は協議事項

- ◎「平成25年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の実施方針について
- ◎杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」の策定について
- 「中学3年『休日』パワーアップ教室」の実施について
- 新たな指定校変更の認定事由による受入について
- 富士見丘小学校教育環境懇談会の設置について
- ◎杉並区大宮前体育館の指定管理者の指定について
- 杉並中学生生徒会サミットの実施報告について
- 「杉並区中学生海外留学事業」の実施について
- 小笠原村との「子ども自然体験交流事業推進宣言」について
- 高円寺地域における新しい学校づくり計画(素案)の骨子について

●再生紙を使用しています